

やっぱり、 この男に。

この国が危ない。
かつて世界最強だった経済も、今や昔。
かつて世界ナンバー1だった日本の教育も、
抜かれっ放し。
かつて世界に誇った日本の社会保障も、
今や不安だらけ。
そして、未曾有の震災と原発事故。
この国は、これまでと同じやり方をしていたのでは、
ジリ貧です。



衆議院議員

さいとう
けん
健



SAITO KEN

戦い

さいとう健の

当選一年目は、

自民党はじまって以来の一年生環境部会長に。当選半年後には本会議場に登壇し、法案の趣旨説明を行う。『影の内閣』の環境大臣として、表の環境大臣と国会論戦を渡り合う。結局、環境大臣との対決は計10回に。質問の最中に、強行採決されるという経験も。

二年目は、

党の政策決定機関である政務調査会事務局長として、あらゆる法案と予算のとりまとめにあたる。3・11以降は、復興庁の創設、ガレキ処理法案等の議員立法を立て続けに行う。特に、地元ホットスポット問題では条文作りから参画し、法案成立後も除染対象区域を狭くしようとする政府に対して「政権を取り戻したら全部直します」など、熱のこもった質問を行う。

三年目は、

『影の内閣』総理補佐官としてマニフェスト作りに参画。国会質問では、他の議員が揚げ足を取る質問を繰り返す中、正論直球勝負の姿勢を貫く。年数回しか質問に立たないベテラン議員がいる中、これまでに38回の国会質問に立つ。

① 東日本大震災復興基本法案を議員立法し、成立させる。

② ホットスポットの除染範囲の拡大を国に求め、実現させる。

③ 放射性焼却灰の処理を、自治体ではなく国に行わせる。

④ 国会で、法人税減免による復興の支援を求め、実現させる。

⑤ 国会質問での正論直球勝負で、建設的な議論を展開する。



さいとう健の こたわりだ

- 1 自分の将来が見える年金・医療を作り上げる。
- 2 強くて夢のある経済戦略を進める。
- 3 暮らしの安全保障を強化する。
- 4 世界ナンバー1の教育を取り戻す。
- 5 強靱な地方自治体を作る。

自分の将来が見える年金・医療を作り上げる。

大事なことは、将来いくら年金を受け取れるのか、病気のときどうなるのか、あらゆる世代に対してはつきりさせることです。そしてその財源は、薄く広く自分たちで負担してゆく。わかりやすく見通しの効く制度こそ、自助努力の前提です。

強くて夢のある経済戦略を進める。

例えば、電気自動車や燃料電池車、更には再生医療などなど。人に優しく爆発的な需要が見込める夢のプロジェクトに、国をあげて取り組みます。産業空洞化を防ぎ、新たな成長に向けて走り出すために、若者が夢中になれる先進プロジェクトを散りばめたい。

暮らしの安全保障を強化する。

地震が来たら、まずどうするか。こどもへの教え込みをはじめとして、あらゆる面で災害防衛策を再構築していきます。また、脱原発依存につながる再生可能エネルギー推進を柱とするエネルギー政策、食糧自給率向上を目指した農業政策に力を入れます。

世界ナンバー1の教育を取り戻す。

日本にとって、人材こそ唯一の資源です。この唯一の資源である人材育成に、いじめや学力低下など様々な問題が出ていることは国家的一大事です。国の存亡をかけて教育の再生と人材の育成に、全力を尽くします。

強靱な地方自治体を作る。

財政難の中で高齢化社会を迎えようとしている今、地域社会は分権化した上で自立の道を進んでいかなければなりません。地方自治体への権限移譲、道州制の導入などの政策を通し、強靱な地方自治体を作り上げます。

夢

さいとう健の

さいとう健これまで

昭和34年6月14日生まれ(53歳)

夫婦だけで経営している小さな写真屋で生まれる。

幼い頃は野球や柔道に打ち込む。

大学時代は、東大ハンドボール部の主将として活躍。

大学卒業とともに、通商産業省(現・経済産業省)に入る。

中小企業庁で政策金融機関や信用保証制度の運用に携わり、構造不況業種対策、あるいは、エネルギー行政、IT政策などを幅広く担当。

平成7年～8年は、日米自動車交渉に主力メンバーとして加わり、強硬な態度を崩さないアメリカと23ヶ月にわたり交渉し、この歴史的な交渉の決裂を回避。

平成12年からは、内閣官房の行政改革推進事務局に出向し、当時、小泉改革のホットな政策課題であった「道路公団民営化」などの特殊法人改革に取り組む。

また、その後は、通産大臣の秘書官を務め、24時間態勢で大臣に仕えながら、政治とはどうあるべきかについて、身をもって体験する。

ハーバード大学大学院に留学中には、選挙によって、学生自治会財政委員長に選ばれる。

平成16年8月には、埼玉県知事の要請により、副知事に出向。企業誘致や商店街振興策等々に力を振るう。

平成18年4月、衆議院千葉県第七選挙区の自民党候補公募に応じ、221名の中から選ばれ、立候補するも、わずか955票差で惜敗。

平成21年8月、第45回衆議院議員総選挙において、104,262票のご支援を頂き、比例南関東ブロックで初当選。

これまで、自由民主党環境部会長やシャドウキャビネット総理補佐官など、党の政策中枢で力をふるう。

国会では、揚げ足を取らない直球質問でネットユーザーからの好評を頂く。

著作の『転落の歴史に何を見るか』は、8刷のベストセラー。

さいとう健の予算委員会質問が、ニコニコ動画において28万回再生を突破し大ブレイク!!
元の映像も18万回再生を記録!
キーワードは「言っちゃった☆」
ホームページからもご視聴頂けますので、ぜひ、さいとう健の質問をご覧ください。

LIBERAL&DEMOCRATIC
自由民主

発行所

自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町 1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
定価 1部 105円(税込み)
自由民主党ホームページ

<http://www.jimin.jp/>

さいとう健/特集号



<毎週火曜日発行>

さいとう健 後援会事務所

〒270-0137 千葉県流山市市野谷665-40-103
TEL:04-7157-6223 FAX:04-7157-6224

こんな夢をみました。

巨額だった財政赤字も着実に減少に向かい、
国民意識が向上してバラマキ的な予算は姿を消し、
筋肉質な歳出構造の下で皆が知恵を絞り、
消費税は15%となつてはいるが、将来が見通せる年金制度となつて、
自己責任の下で各自が自らの将来に備え、
大いなる規制緩和の下で、各自が生まれ持つ力を最大限発揮して
経済・芸術・文化・スポーツの世界で自己実現し、
道州制の下で道州間競争が活発化して行政がスリム化し、
地域社会は、小さいながらも、効率的でエコで温かい街となり、
人々が、思い思いのNPOに参加しながら社会貢献し、
企業は、世界最強の技術を持ち、国際的な全面展開をしながらも雇用
と収益を国内に確保し、
中央政府は、外交、治安、医療・介護など社会保障制度の運営などに、
優秀な国家官僚がスマートな行政を展開し、
憲法が改正されて、自分の国は自分で守るという自主独立の気風が
国民全体にあふれ、
教育水準は再び世界最高水準で、
食料自給率は7割を達成し、
国政を担う政治家がクレバーでなおかつ、ノーブレスオブリージュの
気概を持つ。

こういう国に私は住みたい。

衆議院議員

齋藤 健

※ノーブレスオブリージュ:身分の高い者はそれに応じて果たさねばならぬ社会的責任と義務があるという、欧米社会における基本的な道徳観。 (参考)大辞泉



中小企業の皆さんとともに、

さいとう健は、零細企業の家で生まれ育ちました。小さい頃から、両親の並々ならぬ苦勞を見てきました。少しでも同じような家の皆さんの役に立ちたい、そんな願いが通産省(当時)という職場を選ばせました。中小・零細企業の皆様の声を国政の場に届ける。それは、さいとう健のライフワークです。

子育てをする皆さんとともに、

さいとう健も子育てを経験しています。いろいろなことがありました。子育てに関わる経済的な負担、防犯対策、働くママへの支援など、同じ子育て世代として一緒に考え、一緒に問題を解決していきます。さいとう健は、子育て支援の強い味方です。



高齢者家族の不安解消へ 共に考え、悩み、行動します。

さいとう健にも、80歳を過ぎた両親がいます。母は寝たきりです。高齢者のいる家族にとって、介護、医療、年金など、悩みはつきません。さいとう健は、これらの不安を少しでも和らげ、誰もが末永く安心して暮らせる社会を目指します。

